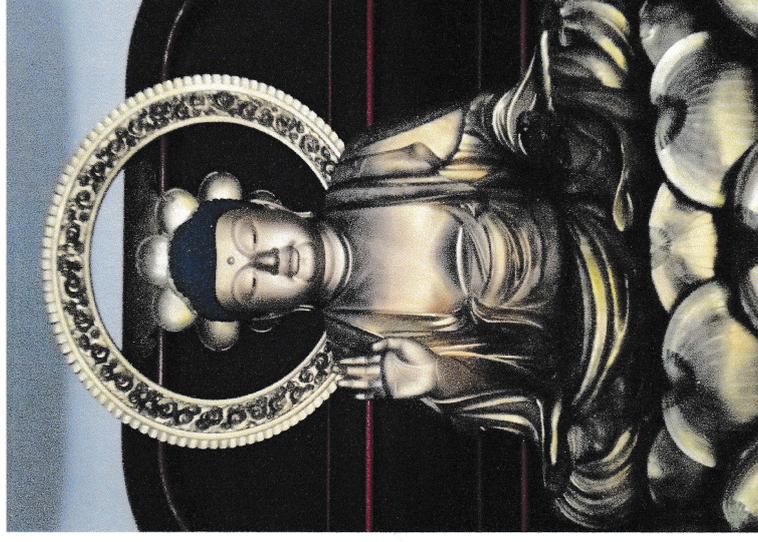


【八丁堀だより】



真宗大谷派(東本願寺)



林鶯凶 憶西院 超覚寺

RIN-OH-ZAN OKU-ZEI-IN CHOH-KAKU-JI
〔since 仏暦2002, 西暦1619, 元和5〕
〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀 5-2

Tel : 082-221-1234 ; 090-9999-3113

Mail : wada@namuamidabutsu.com

HP : http://www.namuamidabutsu.com

◎ 浄土真宗基礎講座(超覚寺女子会定例会) : 14時~15時

毎月原則28日(親鸞聖人の御命日)に開催しています。

28日が土日に当たるとは直前の金曜日にしていきます。

今後の開催日⇒ 4/28(金)、5/26(金)、6/28(水)、

3月は春彼岸後なので休会します。

今年から「テーマ」を設けて、皆で座談する形式で開催しています。

1月「なぜお念仏を口に出して称えるのか？」

2月「どうして宗教が必要なのか？」

◎ 死別の分ちあいの集い(予約・参加費不要) : 13時~15時

・伴侶 : 毎月第1土曜日 (3/4、4/1、5/6、6/3、7/1)

・自死 : 毎月最終土曜日 (3/25、4/29、5/27、6/24、7/29)

当事者の方々と僧侶(超覚寺住職)との分かちあいの集いです。

1/30の中国新聞洗心面に取材記事が掲載されました。

◎ 対話カフェ : 3/12(日)・14(火)・16(木) 13時~16時

◎ ほっ!と相談 : 毎月第2火曜日 13時~16時

精神対話士(メンタルケアの専門家)との1対1の面談形式です。

日頃心の中に溜め込んでいるモヤモヤした気持ちを吐き出して、ほっ!

とする時間を持ちませんか?

◇ 報告・連絡・“僧”談

上記にあるように、『浄土真宗基礎講座』を「テーマ」を用いた座談会形式に変更しました。講義でなく座談という形式なので、雑談が自然と増えて堅苦しさもなくなり、和やかな雰囲気でした。でもしつかりと真宗の基本には触れていただけます。東本願寺へ団体参拝された方は、宿坊(同朋会館)で経験していますね。

それを末寺で開催しているところはまだまだ少ないようで、2/28の開催日には東本願寺から取材に来ました。その様子が掲載されたら、またご紹介したいと思います。

発行人 : 超覚寺住職 釈隆恩(和田隆彦) (* - -)人 i ~ 合掌

超覚寺 春の法要のお知らせ

慈光のもと、平素は様々にお世話になっておりますこと、
ありがとうございます。

さて、下記の通り法要・法座を勤修いたしますので、
ご参詣くださいますよう、ご案内申し上げます。 <()>

◎ 2017年 春季彼岸会法要

3月19日(日) 13時～ 勤行・法話：住職

14時～ 15時30分(途中休憩有)

高座(節談)説教：祖父江佳乃師

例年通り、祖父江佳乃師(愛知県名古屋市長有隣寺住職)に御出講いた
だきます。私は節談説教を学び始めて3年ですが、祖父江先生から色々
なことを教えていただき、良き師匠に出遇えたと、しみじみ感じております。

◎ 真宗大谷派広島別院(東別院) 法話会

・定例法話

毎月5日の14時～15時

真宗大谷派僧侶の法話があります。

・春彼岸

3月21日(金) 14時～16時

東別院の住所はフジグラン広島から

徒歩すぐの「広島市中区宝町4-16」

の位置にあります。



◇ 2017(平成29)年の御法事をご確認ください。

・2016(平成28)年：1周忌 ・2015(平成27)年：3回忌

・2011(平成23)年：7回忌 ・2005(平成17)年：13回忌

・2001(平成13)年：17回忌 ・1993(平成5)年：25回忌

・1985(昭和60)年：33回忌 ・1968(昭和43)年：50回忌

お勤めは御自宅でもお寺でも大丈夫です。御命日が近づいても連絡の
無い場合には、この寺報に御案内を同封します。念のため、境内通路脇
の案内板に該当者名を掲示してありますので、墓参の際に御確認ください。

法事に掛かる時間は、読経から法話まで約30分です。複数の法事を続
けてお勤めする場合は約15分ずつ時間が延びます。小さいお子さまにも

大切な御法縁になりますから、ぜひ同席くださいますようお願いいたします。

年回の法事が無い方も、**月命日・祥月命日・お彼岸・お盆**に、お仏壇や
お寺の阿弥陀様にお参りしましょう。

お寺での法事は、ゆっくりお参りいただけるよう間隔に余裕を持たせて、開式
時刻は**10時・11時半・13時・14時半**にております。予約状況によつて
は時刻の変更希望も可能です。境内駐車場も5台までは大丈夫です。
その他ご不明の点は、どうぞ何なりとお問い合わせください。

◇ 寺院護持費(墓地管理費)について

例年、お彼岸の時期にお納めいただく方が多く、玄関が混雑してしまい申し訳
ございません。遠方の方々は、どうぞ下記口座をご利用ください。

【ゆうちょ銀行 15190-55770601】

他金融機関からゆうちょ銀行へ振り込まれる際は、次の内容をご指定ください。

【店名】五一八(読み ゴイチハチ)

【店番】518(普通預金) 5577060

◇ 寺業報告

・2017/1/1【修正会】

一年最初の法要。のべ13名がお参りくださいました。法要の時間以外でも本堂を解放していたので、多くの方々がお参りくださいました。

・2017/2/22

【東別院での研修会】

この度の御講師の

近藤龍麿先生は、

11/3の超覚寺報恩講

にも御出講いただきました。



・お陰さまで龍谷大学大学院の
実践真宗学研究科を修了し、
臨床宗教師を拝命しました。



・お陰さまで住職坊守夫婦も
大病無く、子どもたち6人も
健やかに育っております。

今年もよろしくお願ひいたします。



◎ 第三回法灯りレラ法座 【許されて生きる】

講師：伊藤篤師（北海道 帯広大谷学園長）

昨年・一昨年に続き、大谷派寺院5カ寺合同の法座を開催いたします。どなた様もお寺へご自由に参加できますので、ご都合の良い日時・お寺へ是非お参りください。もちろん複数回お参りくださったって大丈夫です。

4月20日(木) 13時～15時

光円寺 (福山市大門町津之下792)

21日(金) 13時30分～15時30分

極楽寺 (広島市東区尾長西2-10-7)

22日(土) 10時～12時

超覚寺 (広島市中区八丁堀5-2)

13時30分～

円光寺 (広島市中区白島町16-8)

23日(日) 9時30分～、13時30分～

善福寺 (大竹市木野2-1-5)

◇ マツダスタジアム団体観戦

今年も広島カープ観戦 (マツダスタジアム) の団体観戦を企画しています。昨年は阪神戦でしたが、黒田投手が200勝を達成した試合で、“神ってる”もとい“ムってる”団体観戦になりました。セレモニーまで観られて最高でした。

一昨年からはじめたこの企画は毎年お問い合わせが多く、チケットも早めになくなりまりました。今年は昨年以上のメンバーが予想されるので、3試合分のチケットを申し込みました。6/24(土)阪神戦と8/19(土)のヤクルト戦の内野指定席100席、あとは正面砂かぶり席20席(相手も日程も任意で取れない可能性もあり)を申し込んでいます。申し込み結果は先ず春季彼岸会にて報告いたします。観戦希望の方は、どうぞお問い合わせください。超覚寺門徒のつながりが広がりますように。

☆【 広島のはっちゃん 】

「子ども食堂」という活動をご存知でしょうか？ 育児放棄・貧困などで満足に食事ができない子どもに、無償または安価で食事を提供する活動です。「子どもの貧困」が世間に認知されるようになりましたが、お腹を空かせて荒んだ気持ちでいる子どもがいないと思うと、本当に切ないです。

今年1月に、NHKで「はっちゃん～子どもたちが立ち直る居場所～」という番組が放映されました。はっちゃんこと中本忠子さんは広島市の保護司でしたが、1982年に担当した少年が「シンナーを吸うと、お腹が減ることを忘れられる」と言ったので、その少年にご飯を食べさせることにしました。その後この少年は自分と同じようにお腹をすかせている友人を連れて来て、その友人がまた別の友人と来るようになりました。保護司として子どもたちと関わる中で、「罪を犯してしまう子どもたちは、お腹を空かせている」という事実に気づき、30年以上も子どもたちに無償で食事を提供し続けています。

番組の中では、金髪の子、虐待を受けている子、少年院から出てきた子、住む家を失った子…、様々な子どもがはっちゃんの家に来てきて、温かい手作りの食事を振る舞われます。「腹が減ると”これくらいの悪さはいじやろ”とあまり考えなくなる」、「手作りが一番良い。それで子どもたちは治まる」と、はっちゃんは食事を作り続けます。子どもたちが空腹から非行に走り、社会全体に広がる不寛容の空気のせいで立ち直りが難しくなっていると、はっちゃんは感じています。子どもたちは悪循環から抜け出せずについて、子ども三人がはっちゃんのところまで世話になったという母親は、全身に入れ墨を彫り、自分自身もまた親の愛情を知らずに育ったのでした。

「こんなに大変なのに、なぜ続けるのですか？」取材している記者は繰り返しはっちゃんに尋ねます。「続けているのは、きっとそこに何か喜びがあるのでは？」との問いに、はっちゃんは「辛いば～っかで喜びなんかありません！」と、ピシヤリと言います。「子どもに面と向かって”助けて！”と言われたことのない人間には分かんらん」と言うはっちゃんの言葉から、簡単に「偉い・スゴイ」と言えない敵しい現実があるのだらうと感じました。 ➤

➤ はっちゃんは将来を見据え地域ぐるみで子どもたちを支えられるよう「食べて語ろう会」を立ち上げ、2004年から公民館でも毎月2回活動しています。スタッフは保護司・更生保護女性会員・地域の方々で、子どもたちも手伝っています。2015年からは空き部屋を借りて「墓町の家」という居場所を常設、ほぼ毎日10人程度の子どもたちが来ています。

「食べて語ろう会」が支えている子どもたちは、親が何日も不在だとか、親のDVにより家庭に居場所がない、水道・ガス・電気が止まっている、といった状況にあります。万引きやカツアゲをするより他に生きていく方法を知りません。手を差し伸べないままだと子どもたちの非行はエスカレートし、子ども自身はそのような生活を当たり前に感じるようになります。幼い頃からそうした生活を送っている子どもたちに少しでも手を差し伸べることによって、万引きなどの犯罪をしなくてもいい生活を取り戻せるよう手助けをしています。また、子どもたちの親にも支援が必要で、料理や掃除などの家事をしたことがない、子どもどどのように接したらいいかわからない親たちにきちんとした生活習慣を教えることも支援の一つです。

この番組を観ていた知人が、「お母さんもばっちゃんみたいに困っている子どものご飯を作ってあげたいんだけど、もしそんな活動を始めたら、そっちの方が忙しくて、あなたたちが寂しくてグレちゃうかも知れないから、まだやれないなあ」とお子さんたちに言うと、「そうだね、僕がそっちの側（少年院を出たばかりの子ども）に行っちゃうかもしれないもんね」とサラリと言われたそうです。本当にそうです。先ずは自分が直接関わっている子どもたちに寂しい思いをさせないようにはしないといけません。

私も保護司をしていた御縁で、はっちゃんの活動を微力ながらお手伝いしています。また、「おてらおやつクラブ」という、貧困問題の解決への貢献を目指す超宗派寺院の全国組織を通じて、はっちゃんの元へ必要な物資を届けています。仏教やお寺の存在意義が希薄化し「お寺離れ」が言われるようになって久しいですが、こういう問題に関わることで、お寺本来の力を地域社会に還元していきたいと思えます。

Fブロック同朋大会(真宗大谷派仏教講演会)

～参加募集～

この度、山陽教区 F ブロック (安芸南組・安芸北組・芸備組) では精神科医の香山リカさんと僧侶であり歌手の二階堂和美さんをお迎えし、お話とコンサート、お二人の対談を通して、現代人の「悩み」について考える F ブロック同朋大会を開催します。皆様、ぜひご参加ください。

■日 時 2017年5月21日(日) 午後1時～4時15分

■会 場 JMS アステールプラザ(大ホール)広島市中区加古町4-17

■参加費 無料

- 内 容
- ・第1部 講演 香山リカさんの講演
 - ・第2部 コンサート 二階堂和美さんのコンサート
 - ・第3部 香山さん・二階堂さんのお悩み相談
寄せられた「お悩み」を通してお二人の対談があります。

■申込方法 お手次の各ご寺院にお申し込みください。

■締め切り 2017年3月末日

講師プロフィール



香山リカ

1960年北海道生まれ。
精神科医。立教大学現代心理学部教授。
豊富な臨床経験を生かして、現代人の心の問題を中心にさまざまなメディアで発言を続けている。
NHK ラジオ「香山リカの心の美容液」のパーソナリティをつとめる。



二階堂和美

1974年広島県生まれ。
浄土真宗本願寺派僧侶・歌手。
小泉今日子のアルバムへの楽曲提供や2013年スタジオジブリ映画『かぐや姫の物語』の主題歌「いのちの記憶」など多方面で活躍。現在、中国新聞の洗心欄で執筆中。